

SHINTO TAIZEN

神道大全

すべて

文化教養入門

神社手帖

今月の言葉

神職の小話

強運から学ぶ生き方

記事を

探す


神社手帖

公開：2025年10月29日 / 最終更新：2025年12月15日

神社で行うご祈祷とは？～日本人なら知っておきたい神社のご祈祷～





前田 典文 
著者

1 ご祈祷とは

1.1 「ご祈祷」の読み方

1.1.1 読み方は「ごきとう」

1.2 ご祈祷とは何をする？

1.2.1 より丁寧なお参り方法

1.2.2 神様にお願いを聞き届けてもらうもの

1.3 祈祷は誰が行うものなのか？

1.3.1 あらゆる立場の方

1.3.2 赤ちゃんからお年寄りまで

1.4 ご祈祷はどの宗教の行為なのか？

1.4.1 “神道”の行為

1.4.2 お寺で行う祈祷は“仏教”の祈祷

2 ご祈祷の成り立ち

2.1 [古代～奈良] 国家的な儀礼として行われていた

2.2 [平安時代中期頃～] 個人のための祈祷が行われるように

3 ご祈祷の種類

3.1 厄除け祈祷

3.2 家内安全祈祷

3.3 交通安全祈祷

3.4 安産祈祷

3.5 お宮参り祈祷

3.6 七五三祈祷

3.7 商売繁盛祈祷

3.8 会社安全祈祷

3.9 工事安全祈祷

3.10 その他の祈祷

4 ご祈祷の流れ

4.1 受付、初穂料を納める

4.2 待合所で待機

4.3 拝殿へ移動

4.4 修祓

4.5 祝詞奏上

4.6 玉串お供え

4.7 授与品の受取

5 ご祈祷のマナー・服装

5.1 フォーマルを基本とし、カジュアルを最小限に抑えた服装

5.1.1 【男性】シャツやジャケット、シンプルなスニーカーや革靴など

5.1.2 【女性】シンプルなワンピースや、淡い色合いのシャツなど

5.2 ご祈祷のマナー

5.2.1 携帯電話はマナーモードに

5.2.2 撮影のルールは確認しましょう

5.2.3 初穂料を準備しましょう

5.2.4 予約が必要なのか確認しておきましょう

ご祈祷とは



ご祈祷を行う神職と巫女

「ご祈祷」の読み方

読み方は「ごきとう」

「ご祈祷」は「ごきとう」と読みます。

ご祈祷にはこの他にも様々な名称がありますが、「ご祈願(ごきがん)」「お祓い(おはらい)」と呼ばれることも多くあります。

ご祈祷・御祈願とは、神職とともに願い事を神様にお伝えする儀式を指し、お祓いとは主にお清めのことであると、当社ではご説明しています。

ご祈祷とは何をする？

より丁寧なお参り方法

参拝が自分で神様に感謝や願いを伝える行為であるのに対し、ご祈祷は神職が正式な儀式として祝詞を奏上し願いを届けるものです。

ご祈祷では、自分で手を合わせてお祈りする他にも、神職によるお祓いや、祝詞奏上、玉串をお供えするなど、参拝者ひとりでは難しい儀式でも、神職の手助けをいただき、いくつも行うことができます。

それにより、通常の参拝よりも、丁寧に神様にお参りすることができるのです。

(参考) 東京都神社庁『[参拝と祈祷](#)』

神様に願いを聞き届けてもらうもの

神職には「神様と参拝者との間の仲執り持ち」という役割があり、つまり神様と参拝者との間の架け橋を担っていただけるのです。

この神職の架け橋によって、自分ひとりで神様にお願いするよりも、より丁寧に正式な形で神様へお願いを聞き届けていただきます。

例えば、[祝詞奏上(のりとそうじょう)]では神職が私たちに代わって、神様にお願い事を奏上していただきます。

また[玉串奉奠(たまぐしほうてん)]という儀式は、神様にお願い事をするうえでの正式な儀式となります。

(参考) 長野県神社庁『[神社用語](#)』

祈祷は誰が行うものなのか？

あらゆる立場の方

ご祈祷はもともと国家の安全や五穀豊穡を願うもので、国の政治に関わる一部の人間のみが行うものでした。

しかし時が流れ、現在においてはすべての人に開放され、どんな人でもご祈祷を行うことができます。

例えば、天皇陛下はいつも国や国民、世界のためにご祈祷をされています。他にも、公的な立場にある方や、またそうではない一般の方もご祈祷を行っています。

赤ちゃんからお年寄りまで

ご祈祷には種類があり、赤ちゃんが行うご祈祷から、お年寄りが行うご祈祷まで、様々な種類があります。

生まれたての赤ちゃんには、生後約1ヶ月のタイミングで行う初宮参りというご祈祷や、お年寄りの方には喜寿や古稀といった歳祝いなど、様々な種類のご祈祷があります。

また、年齢だけでなく、時期や状況に合わせたご祈祷もあります。正月には家内安全のご祈祷や、お仕事が正念場を迎えている際には商売繁盛・必勝祈願など、その時々に適したご祈祷を行うことができます。

ご祈祷はどの宗教の行為なのか？

“神道”の行為

神社で行うご祈祷は“神道”という宗教の行為になります。

神道とは世界中で日本にしか存在しない、日本で生まれた宗教です。

神様と私たちとの仲執り持ちである神職に、参拝者のお願い事を神様に伝え届けてもらうことが、神社における祈祷の流れです。

お寺で行う祈祷は“仏教”の祈祷



お寺の宗教は仏教で、祀られているのは仏様です。

仏教とは、紀元前6～5世紀にインドで発祥した宗教です。

ご祈祷では、僧侶が願い事を仏様へ取り次いでくださいます。

また、儀式は読経が中心で、宗派により護摩壇での護摩、印契や真言、木剣を用いる作法があります。

ご祈祷の成り立ち

[古代～奈良] 国家的な儀礼として行われていた

ご祈願はもともと、個人のためでなく国のために行うものでした。

なかでも「国家安泰」「五穀豊穡」「天候安定」など公共性の高い祈願が全国の神社で執行されており、いち個人はご祈祷にはあまり関わっていませんでした。

[平安時代中期頃～] 個人のための祈祷が行われるように

平安中期以降、神職とは別の祈祷師と呼ばれる方たちが、貴族や武士のあいだで個人祈祷を行うようになりました。病氣平癒や厄除けが主な内容であったとされています。

そして明治以降、ご祈祷の形態は、神仏判然令や神社合祀令などの政府による宗教統制を受けながら変遷し、現在行われている神職によるご祈祷の形となりました。

(参考) 神社本庁『[神社でのご祈願](#)』

ご祈祷の種類



七五三参りを行う家族

厄除け祈祷

厄除け祈願とは、人生の節目や特定の年齢に訪れる「厄年（やくどし）」を中心に、災いや悪いものを退け、平穏無事に過ごせるよう神様にお祈りする儀式です。

厄年に当たる方はもちろん、厄年に当たらない方も受けることができます。

家内安全祈祷

ご家族やご自宅が一年を通じて平穏で健康に過ごせるように、災いを祓い清め、神様の御加護をいただくための祈願です。

ご家庭は「社会の最小単位」でもあります。ご家庭の不安はすなわち、ご自身の足元の不安にも繋がりがねませんので、年始や期始めなどに家内安全の祈願を受けてみてはいかがでしょうか。

交通安全祈祷

車やバイクなどの乗り物を利用する際、または子どもの通学やお仕事の通勤など、日々欠かせない「移動」の安全を神様にお祈りするご祈願です。

現代は交通網の発達により移動の負担が大きく減りました。しかし、江戸時代など過去においては、特に長距離の移動は、多くの危険を伴うものでした。

交通安全祈願は、人々の切実な願いが詰まった古くからのご祈願なのです。

安産祈祷



赤ちゃんがお母さんのお腹に宿ったことを神様に感謝し、出産までの期間を母子ともに健やかに過ごせるよう祈るご祈願です。無事に出産を迎えられるよう、古来より多くの方がお受けになっています。

特に戌(いぬ)の日には、多くの安産祈願の参拝があります。

犬は多産かつ安産であることから「安産の守り神」とされており、戌の日は安産に縁起の良い日とされています。

(参考) 産泰神社『[安産祈願](#)』

お宮参り祈祷

「初宮参り(はつみやまいり)」とは、赤ちゃんが誕生して初めて神社にお参りし、無事に生まれたことを神様に感謝するとともに、健やかな成長を祈るご祈願です。

一般的に男の子は生後31日目、女の子は生後33日目に参拝する慣習が多いです。ただし、母子の体調や天候に合わせて柔軟に日程を選びましょう。

(参考) 神社本庁『[出産と育児に関する神事](#)』

七五三祈祷

3歳・5歳・7歳という節目の年齢を迎えた子どもの健やかな成長を神様に感謝し、これからの無事とさらなる成長を祈るご祈願です。

現代でこそ人々の栄養状態や衛生環境も向上しましたが、それまでは乳幼児の死亡率が高く、子供が無事に成長すること自体がおめでたいことでした。

そのため、一定の年齢で子どもの成長をお祝いする七五三祈願が定着したのです。

一般的に男の子は3歳と5歳、女の子は3歳と7歳で行います。

3歳は髪置きの儀、5歳は袴着の儀、7歳は帯解きの儀とも言われ、子どもの成長を祝う通過儀礼という側面があります。

商売繁盛祈祷

商売や事業を営む方が、商売や事業の益々の繁盛、顧客との良縁などを願い、神様に祈りを捧げること祈願です。

年のはじめや、新しい挑戦の節目などに多くの方がお受けになります。

稲荷神社をはじめ、もともと五穀豊穡を祈ってきた神社では、時代の変化に合わせて祈りを“生業の繁栄”へと広げ、現在は「商売繁盛」のご利益も掲げるところが少なくありません。

会社安全祈祷

会社安全祈願とは、企業や事業所が、事故や災害がなく安全に業務が行えることや、社員や従業員の無事をお祈りするご祈願です。

年始や期始めなど節目に多くの会社がお受けになります。

工事安全祈祷

工事安全祈願とは、建設・土木・解体などの工事現場で「無事故・無災害」で工事が進み、関係者の健康と工事の円滑な進行、無事竣工を願うご祈願です。

現場において「地鎮祭」という形で斎行される場合もあります。

その他の祈祷

その他にも、学業成就、八方除、良縁祈願など一人ひとりのお願い事に沿った様々なご祈願があります。

神社ごとに用意している祈祷の種類は違うため、直接問い合わせれば、お願いに適したご祈祷を案内してもらえます。

ご祈祷の流れ

受付、初穂料を納める

祈禱申込書

備考	連絡先	住所	祈禱主名 （姓・名・姓・名）	祈禱名
	電話		ご祈禱の氏名 （姓・名・姓・名） ※お一人様につき お一人様につき お一人様につき	祈禱名
	e-mail		生年月日（大・昭・平・令 男・女 月 日）	
初穂料 円				車のナンバー
(個人 6,000円～初穂 10,000円～)				

交通安全
祈禱
の力のみ

申込用紙の記入

電話やホームページからの事前予約、または神社で直接申し込むという場合もありますので、ご予約の神社の受付方法を確認しておきましょう。

また、初穂料はこの時に納めます。領収書が必要な場合は、申し出れば用意していただきます。

神社へ納めるご祈祷の料金のことを「初穂料」といいます。もともとはその年に初めて収穫した稲穂（初穂）を神様にお供えしていたことが由来で、時代の流れとともにお米でなく現金へと変わっていきました。

(参考) 神社本庁『初穂料・玉串料のマナー』

待合所で待機

神社で行うご祈祷とは？～日本人なら知っておきたい神社のご祈祷～ | 神道大全 | 宗教法人 警固神社
祈祷待合所で、自分の順番を待ちます。

神社の方からご案内していただけますので、呼ばれたらすぐわかるように、なるべく待合所内で待ちましょう。

拝殿へ移動

神職や巫女さんが拝殿へご案内してくださいます。

ここから先は御神前ですので、心静かに進みましょう。

修祓



神職による修祓

神職がお祓いの詞を奏上し、お清めを行います。

神社で行うご祈祷とは？～日本人なら知っておきたい神社のご祈祷～| 神道大全 | 宗教法人 警固神社
大麻（おおぬさ）と呼ばれる祓いの道具で、授与品と参列者のお祓いを執り行います。

祝詞奏上



神職による祝詞奏上

参拝者の願い事が叶いますよう、神職が祝詞を奏上します。

祝詞は、それぞれの願い事の内容によって異なる祝詞が奏上され、大和言葉で書かれています。

大和言葉とは、漢語や外来語を除いた和語ですので、神職が詠み上げる祝詞をよく聞いてみると、祝詞の内容が少しわかるかもしれません。

玉串お供え



玉串のお供え

玉串と呼ばれる、榊の小枝を神様にお供えします。

お供えする作法は、まず神職から玉串を受け取ったら、お供えする机の前まで進みます。

玉串を時計回りに回し、玉串の根本を御神前へ向け、机の上に置いてお供えします。

その後に、二礼二拍手一礼の作法で拝礼します。

授与品の受取



授与品で受け取る御札

授与品には、御札、お守り、お神酒ほか撤下の品があります。

御札は、神棚や目線より高い場所に祀りましょう。東か南の方角を向くように祀ることが作法とされています。

お守りは、なるべく身につけて持ち歩きましょう。

お神酒など撤下の品は、感謝の気持ちを込めて、早めに頂くようにしましょう。

(参考) 警固神社『[祈願の流れ](#)』

ご祈祷のマナー・服装

フォーマルを基本とし、カジュアルを最小限に抑えた服装

【男性】シャツやジャケット、シンプルなスニーカーや革靴など

神職は、神様に対する際、目上の方に接するように服装をただし、正装します。わたしたちがご祈祷を受ける場合にも、御神前という神聖な空間にふさわしく、フォーマルな服装を選びましょう。

シャツやジャケットのように、仕事でも使える服装であれば御神前においても、神様に失礼になることはありません。

また、靴はサンダルのようなカジュアルなものでなく、革靴や、装飾の少ないシンプルなスニーカーを選びましょう。

【女性】シンプルなワンピースや、淡い色合いのシャツなど

カラフルな色合いの服ではなく、モノトーンや淡い色の服を選ぶことで、カジュアルな印象を抑えられ御神前においても違和感を感じずに済みます。

服に関しては、ワンピースやシャツなど、フォーマルな場でも着ていくことのできる服装を着ていきましょう。

ご祈祷のマナー

携帯電話はマナーモードに



携帯電話はマナーモードや電源を切るなど、音が鳴らない設定にしておきましょう。

ご祈祷中に音を鳴らしてしまうことは、他の参拝者に対しても失礼になってしまいますので、注意が必要です。

撮影のルールは確認しましょう

ご祈祷中に撮影をすることは基本的にNGです。

他の参拝者に迷惑をかけてしまわないように、また神様の尊厳を損なわないために、特にご祈祷を行う場所や御神前は撮影を控えるようにしましょう。

他にも出張カメラマンを依頼する場合の撮影可否も神社によって異なりますので、予め神社へ確認するようにしましょう。

初穂料を準備しましょう



初穂料を入れたのし袋

初穂料は、神社へそのまま納めても問題ありませんが、のし袋に入れて納めるとより丁寧な納め方になります。

のし袋に入れて納める場合は、表書きには「初穂料」「御神前」「玉串料」などと記入します。

のし袋はコンビニに売っているような祝儀袋を使用することができます。

(参考) 東京都神社庁『のし袋の表書きはどのようにしたらいいですか』

予約が必要なのか確認しておきましょう

ご祈祷受付方法は、神社によって異なります。

電話やホームページから事前予約が必要な場合や、当日のお申し込みだけの場合、またその両方とも受け付けている場合と、神社によって様々です。

また、祭典が執り行われる日はご祈祷ができない、ということもあります。

参拝予定の神社がどのような受付方法なのか、事前に確認しておきましょう。

よくあるご質問

Q.ご祈祷って何をするの？

A.ご祈祷は、神職とともに行う丁寧なお参りです。私たちの願い事を、神職といっしょに神様にお伝えするものです。

Q.ご祈祷はどうやって申し込むの？

A.電話やホームページから事前予約もしくは神社で直接申し込むかのいずれかです。

神社によって受付方法は異なりますので、直接問い合わせてみましょう。

Q.ご祈祷の料金はいくら？

A.多くの神社では5000円～10,000円と定められています。ただし神社によっては金額の定めのない神社もありますので、申込時に確認しましょう。

この記事シェアする



mail magazine

メールマガジン登録。
今月の言葉の配信や、人生の選択に役立つエピソードをお届けします。

登録

次の記事



カテゴリー一覧へ

関連記事



神社とは？起源や
役割、種類など神
社の基本を徹底
解説

2025年10月29日

神社手帖

神社で行うご祈祷
とは？～日本人な
ら知っておきたい
神社のご祈祷～

2025年10月15日

祈祷

マナー

神社手帖

現役神職がお伝
えする、神社での
参拝方法と日本
文化～服装・マナ
ー・注意点～

2025年10月29日

神社手帖